

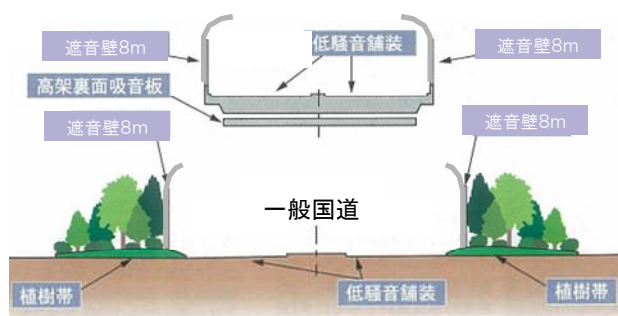
## 環境に配慮した取り組み

### ～名古屋第二環状自動車道（名古屋南JCT～高針JCT）での環境への取り組み～

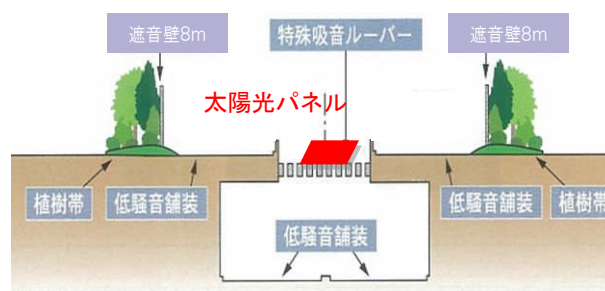
NEXCO中日本では、**経営施策である「高速道路ネットワーク整備」**の取り組みとして、3月20日に名古屋第二環状自動車道（名古屋南JCT～高針JCT）が開通します。

この区間では、**経営施策である「環境・持続可能社会への貢献の推進」**として、環境に配慮した取り組みを実施しました。

- ・住宅密集地を通過することから、遮音壁、高架裏面吸音板及び特殊吸音ルーバーを設置し、住宅への音の低減を図り、沿道環境の保全に取り組んでいます。
- ・掘割部のルーバー上に太陽光パネルを、約14,000㎡、延長にして約6km配置しました。太陽光発電は掘割区間の照明設備の電源に利用し、環境負荷軽減に取り組めます。年間発電量は約218万Kwh、CO<sub>2</sub>の削減効果は約925t/年、森林換算で約87ha(名古屋ドーム約18個分相当)で、この区間で消費する電力量の約4割を賄うこととしています。電気料金の削減効果は、年間約35百万円と試算されます。



【高架部】



【掘割部】



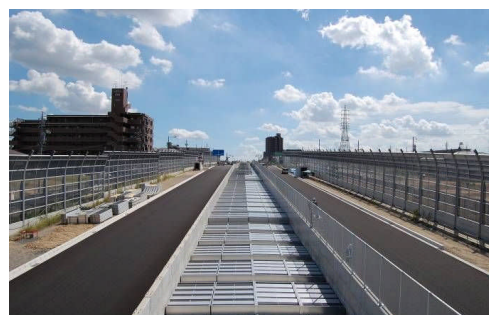
遮音壁設置状況



太陽光パネル設置状況

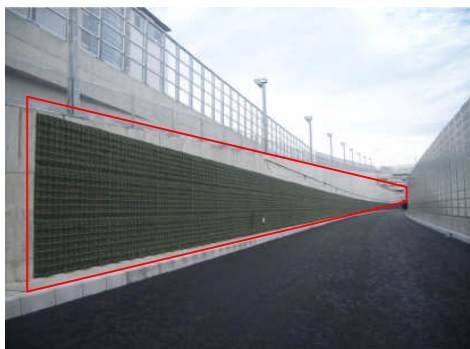


高架裏面吸音板設置状況



特殊吸音ルーバー設置状況

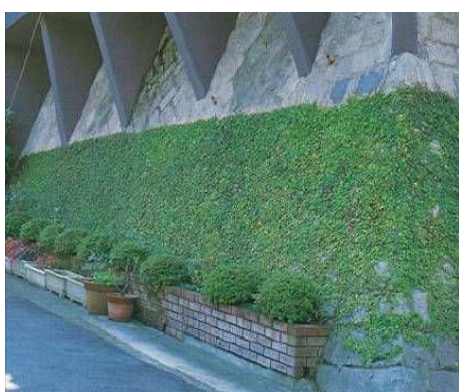
・掘割と橋梁の間の移行部を利用して、CO<sub>2</sub>の固定と走行景観の向上を目指して、壁面緑化を行いました。緑化に使用した植物はオオイタビ、キツタで約3,200本を植栽しました。



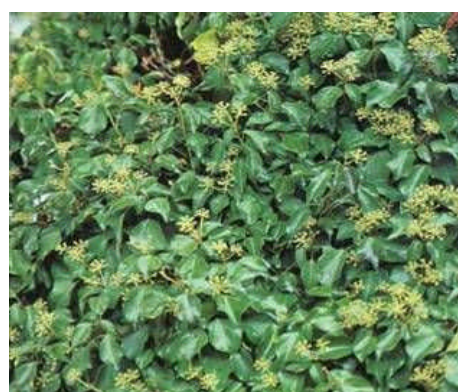
成長補助パネル設置状況



完成イメージ図



オオイタビ



キツタ

また、工事中は遮音壁の設置、低騒音・低振動型建設機械の採用、散水車による防塵対策など周辺の皆様の生活環境の保全にも努めました。

当社は今後も引き続き、高速道路ネットワーク整備などを通じて、環境・持続可能社会への貢献を推進いたします。